

## 会 議 録

会議名	令和3年度 第2回 大野北地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512			
開催日時	令和3年6月29日(火) 18時30分~20時00分			
開催場所	大野北公民館 大会議室			
出席者	委員	22人 (別紙のとおり)		
	その他	1人 公民館館長代理		
	事務局	2人 まちづくりセンター所長、同主査		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 1人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 地区課題抽出に向けた研修 ~まちかど講座~</p> <p style="padding-left: 40px;">ア 市民協働のまちづくり(市民局市民協働推進課)</p> <p style="padding-left: 40px;">イ SDGsで未来を変える(市長公室総合政策部SDGs推進室)</p> <p>(2) グループワークの進め方について(資料1)</p> <p>3 出席委員からの情報提供</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 次回日程について</p> <p>5 閉 会</p>			

## 審 議 経 過

### 1 あいさつ

山口会長あいさつ

(以後進行は山口会長)

### 2 議 題

#### (1) 地区課題抽出に向けた研修 ~まちかど講座~

ア 市民協働のまちづくり(市民局市民協働推進課)

○特に質疑なし

イ SDGsで未来を変える(市長公室総合政策部SDGs推進室)

○富の集中といったゴールの解決は、すぐには難しいと思うが、17のゴール一つ一つは重要だと思う。

地区課題の抽出といった点では、交通事故をなくそう、プラスチックごみを減らそうといったことを、考えていかなければいけないことだと考える。

○6月26日から7月3日まで、SDGsのスタンプラリーを『にこにこ星ふちのべ商店会』で行っています。

17の項目に商店会がどのように取組んでいるかを、スタンプラリーを通して知ってもらい、SDGsの理解の一助になればと思っています。スタンプラリー用紙を片手に淵野辺を散策してみてください。

○市役所の入り口にある自動販売機は、市民に対してどのような周知目的で設置されたものか？

賞味期限が短い飲み物を少しでも安く提供して、食品ロスについて知ってもらうことが一番の目的として設置しました。また、売り上げの一部は寄付しています。

#### (2) グループワークの進め方について(資料1)

グループワークの説明の前に、前回のまちづくり会議で委員から質問があった「ふちのべ」の「ふち」の字について確認できた内容を事務局から報告した。

「ふちのべ」の住居表示の告示は従前から「淵」の字であったが、淵野辺と淵野辺本町の丁目については俗字の「淵」の字が住民票と戸籍に使われていた。

平成11年11月に戸籍事務をコンピューター化した際に合わせて、「淵」の字に置き変わったという経緯であった。

次回以降のグループワークの進め方について、資料1により事務局から説明した。

地区課題はまちづくり懇談会のテーマであり、地域と行政の協働により解決できるものであることを共通認識としていただきたい。

次回からは3班に分かれて、2回グループワークを行う。

各グループには、まちづくりセンターの職員が一人ずつ進行役として参加する。

地区課題抽出の最初のステップとして、各委員にとって『住みやすい・住み続けたい大野北地区』のイメージをポストイットに記入してもらい、次回からの班分けの参考とすることを説明した。

### 3 出席委員からの情報提供

#### (1) 大野北第1高齢者支援センター 伊藤委員

「ほっと情報わがまち シニアの便利帳」を地域づくり部会の方々にご協力をいただき作成しました。高齢者の方がこの地域で生活していくうえで、必要な情報を掲載したものです。来年度に向けて掲載希望のご要望がありましたらお聞かせください。

#### (2) 事務局

添付資料の説明を事務局より行った。

・「サンキュー キャッシュバック キャンペーン」のちらしについて、サンキュー キャッシュバック キャンペーンを再度実施するにあたり、多くの事業者の方々に登録していただけるよう、知り合いの店舗などへの声かけをお願いした。

・「中央区 地域活性化事業交付金 事業まとめ誌」について、昨年度に中央区で地域活性化事業交付金を活用した事業を取りまとめたものである旨を説明し、今後の参考として配布した。

### 4 その他

#### (1) 次回日程について

次回は、令和3年7月27日(火)午後6時30分から開催予定である旨を事務局から報告した。

### 5 閉会

脇山副会長が閉会

以上

令和3年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	出
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	荻原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	欠
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	欠
11	竹内 重男	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	出
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	出
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	出
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	霧生 貴紀	小学校	出
16	平野 知彦	中学校	欠
17	児玉 理恵	小・中学校PTA	欠
18	平井 昇	青山学院大学	出
19	河本 真治	桜美林学園	出
20	白石 一郎	麻布大学	出
21	神谷 恵子	福祉グループ「輪」	出
22	伊藤 憲秀	大野北第1高齢者支援センター	出
23	木幡 一博	大野北第2高齢者支援センター	出
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	出
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	出

# 令和3年度 第2回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和3年6月29日(火)  
午後6時30分から  
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

## 次 第

### 1 あいさつ

### 2 議 題

- (1) 地区課題抽出に向けた研修 ~まちかど講座~
  - ア 市民協働のまちづくり(市民局市民協働推進課)
  - イ SDGsで未来を変える(市長公室総合政策部SDGs推進室)
- (2) グループワークの進め方について(資料1)

### 3 出席委員からの情報提供

### 4 その他

次回日程について

日 時 令和3年7月27日(火) 午後6時30分から  
場 所 大野北公民館 大会議

以 上

#### 【添付書類】

○中央区 地域活性化事業交付金 事業まとめ誌

# 令和3年度 大野北地区まちづくり会議委員及び役員

令和3年6月29日現在

## 1 委員(大野北地区まちづくり会議会則 第4条別表第1)

	氏名	所属団体等の名称	役職名
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	会長
		大野北地区社会福祉協議会	会長
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	副会長
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	副会長
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	会長
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	会計
6	小川 紳夫	大野北公民館	館長
7	田加井 政男	交通安全協会	理事
8	荻原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	会長
9	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	会長
10	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	分団長
11	竹内 重男	さがみはら国際交流ラウンジ	副代表
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	会長
13	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	地区長
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	委員
15	霧生 貴紀	大野北小学校	校長
16	平野 知彦	大野北中学校	校長
17	児玉 理恵	小・中学校PTA	共和中学校PTA会長
18	三條 久美子	青山学院大学	相模原事務部庶務課長
19	河本 真治	桜美林学園	事業開発部長 地域社会連携室
20	白石 一郎	麻布大学	地域連携・渉外課長
21	神谷 恵子	ボランティアグループ	福祉グループ「輪」代表
22	伊藤 憲秀	大野北第1高齢者支援センター	センター長
23	木幡 一博	大野北第2高齢者支援センター	センター長
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	会長
25	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	役員
26	玉城 洋	相模原市農業協同組合淵野辺支店	支店長

## 2 役員(同会則 第6条別表第2)

役職	所属団体等の名称	氏名
会長	大野北地区自治会連合会会長 大野北地区社会福祉協議会会長	山口 信郎
副会長	大野北地区民生委員児童委員協議会会長	脇山 寿満子
副会長	大野北公民館館長	小川 紳夫
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	飯田 秀雄
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	林 知治

## グループワークの進め方について

前回のまちづくり会議（5/25）において、今年度の大野北地区まちづくり懇談会の議題となる地区課題については、「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」の進捗状況を踏まえながら、新たな地区課題を抽出することが合意されました。

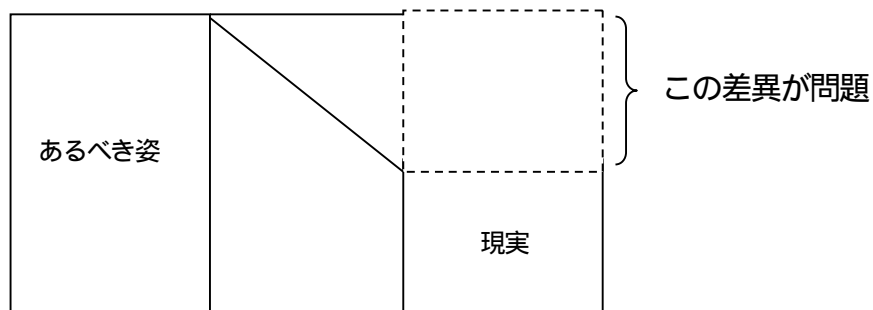
地区課題の抽出に当たっては、各委員が3グループに分かれてワーキングを実施し、グループごとに課題を抽出した上で、9月のまちづくり会議において1つの地区課題を選定することとします。

### 【地区課題の共通認識】

この会議でいう「地区課題」とは、「大野北地区まちづくり懇談会（まちづくり会議委員と課題関係部局の市の職員との懇談会）のテーマであり、地域と行政との協働により解決する取組のことをいいます。

### 【地区課題抽出のステップ】

#### 1 あるべき姿の設定



- (1) 最も広い範囲として、「住みやすい・住み続けたいと実感できる大野北地区」という状態をあるべき姿と仮定し、各委員にとっての住みやすい・住み続けたい大野北地区の具体的なイメージをポストイットに記入します。（本日）
- (2) 第3回まちづくり会議（7/27）のグループワークの最初のステップにおいて、（1）の内容をグループ内で共有した上で、以下の分野を踏まえながら、あるべき姿の状態を話し合います。

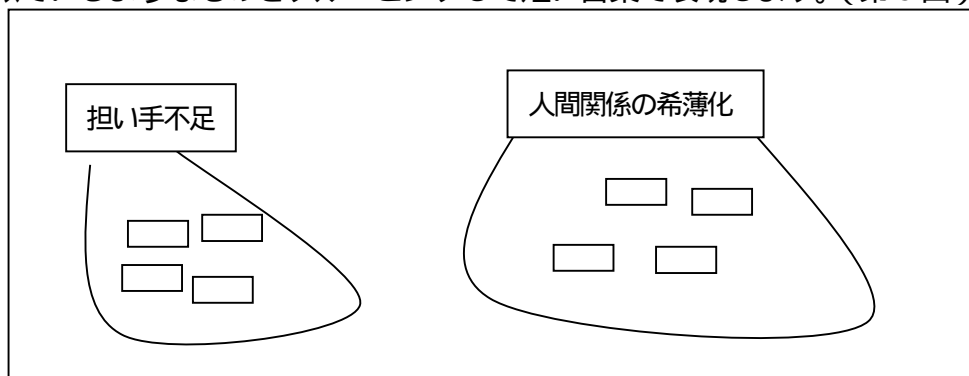
分野の例：都市計画・都市整備、道路・交通、住環境・生活環境、自然・環境、産業・観光・商店街、安全・安心、健康・医療・福祉、教育・子育て、生涯学習・文化・スポーツ、地域コミュニティの10分野（平成30年度まちづくり会議報告書の分野と同じ）

## 2 問題点の抽出

あるべき姿の状態が特定できたら、これに対して大野北地区の現状を思い浮かべ、あるべき姿に到達していない具体的な差異（阻害要因）は何なのかを考え、各自がポストイットに記入します。（第3回）

## 3 問題点の集約

各委員が問題点を記入したポストイットを模造紙に張りながら、問題点の内容を比べて、似ているようなものをグルーピングして短い言葉で表現します。（第3回）



## 4 原因の究明

問題点が集約できたら、なぜその問題が起こっているのか真の原因を究明します。問題の原因と考えられる内容をポストイットに書き出した上で、問題の因果関係を明らかにするなど、問題が発生している原因をグループ内で話し合います。（第4回）

## 5 課題設定（解決方針）

問題の原因を取り除き、問題を解決するために市と地域が協働してできる取組とはどのようなことなのかについて、重要度や実現可能性などを考慮しながら各グループ内で話し合い、具体的な取組（行動）を地区課題として設定する。（第4回）

\*各グループのアウトプットとなる地区課題抽出シートは次回提示します。

以上



# 市民協働のまちづくり

市民局 市民協働推進課

令和3年6月29日

# 本日の内容

- 1 相模原市の「協働」とは
- 2 協働を進めるに当たって

# 1 相模原市の「協働」とは

## 背景と経過

### 【社会の変化】

#### 多岐に渡る社会的課題

少子高齢化、国際化、情報化の進展、市民の価値観やライフスタイルの多様化、住民同士のつながりの希薄化、活動の担い手不足 など

今後も見込まれる厳しい財政状況

### 【市民活動・地域活動の広がり】

阪神淡路大震災(平成7年1月17日)

特定非営利活動促進法(平成10年12月施行)

東日本大震災(平成23年3月11日)

# 1 相模原市の「協働」とは

## 【条例と計画】

平成24年3月 **市民協働推進条例**の制定

【条例の目的】皆で担う地域社会を実現すること



条例の目的達成を目指し、  
協働に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため

平成26年3月 **第1次市民協働推進基本計画**の策定

【計画期間】平成26年度～令和元年度（6年間）



協働に対する理解や認識の浸透が不十分な状況にあり、「活動に参加する者」及び「協働による活動をけん引する者」の増加につながる取組などを積極的に進める必要がある

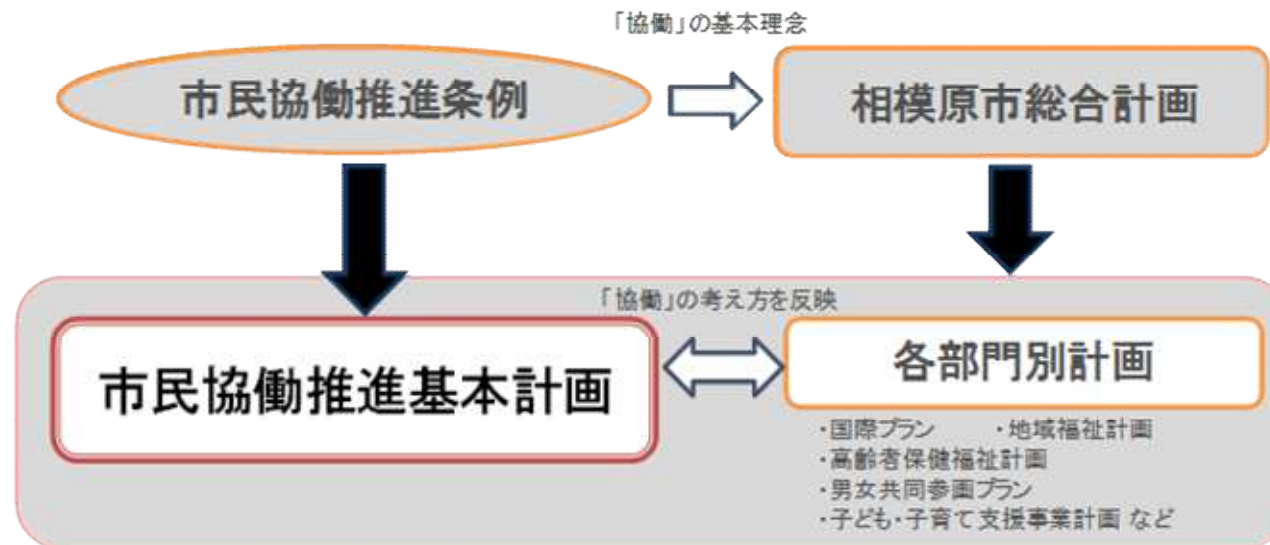
令和2年3月 **第2次市民協働推進基本計画**の策定

【計画期間】令和2年度～令和9年度（8年間）

# 1 相模原市の「協働」とは

## 【市民協働推進基本計画の位置付け】

- 市民協働推進条例に基づく基本計画
- 相模原市総合計画の部門別計画



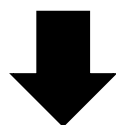
相模原市総合計画の基本構想の実現に向けた基本姿勢及び基本計画の推進に向けた基本的な方針の1番目に「協働によるまちづくり」が位置付けられている。

# 1 相模原市の「協働」とは

## 相模原市の協働の定義

### 市民協働推進条例

市民と市及び市民と市民が、目的を共有してそれぞれの役割及び責任の下で、相互の立場を尊重し、協力して、公共の利益を実現するために活動すること



具体的に説明すると

### 第2次市民協働推進基本計画

多様な主体が、目的を共有してお互いの役割や責任を理解し、その特性や強みを生かしながら、対等の立場で協力して、地域社会の課題を解決するなど、皆が暮らしやすいまちを実現するために、共に考え、活動すること。

# 1 相模原市の「協働」とは

## 「きょうどう」の違い

「共同」 ex.共同使用、共同トイレ等  
同じ条件・資格で関わったりすること

「協同」 ex.〇〇協同組合  
複数の人または団体が力を合わせて物事を行うこと

「協働」  
同じ目的のために得意分野を生かし協力して働くこと  
「協働」ではなく「共創」を使う自治体もあります。

自治体によって「協働」の考え方は様々で、統一的な定義はありません。

# 1 相模原市の「協働」とは

## 協働の担い手

### 【地域活動】

地縁を基礎として一定の区域を活動の場とする団体等が、公共の課題の解決を目的として取り組む活動をいいます。

**地域活動団体** 自治会、子ども会、老人クラブ、PTA、消防団 など

### 【市民活動】

市民が、営利を主たる目的とせず、自発的、自主的に公共の課題の解決を目的として取り組む活動をいいます。ただし、宗教、政治及び選挙に関する活動を除きます。

**市民活動団体** NPO、ボランティア団体 など

## 条例で定める市民

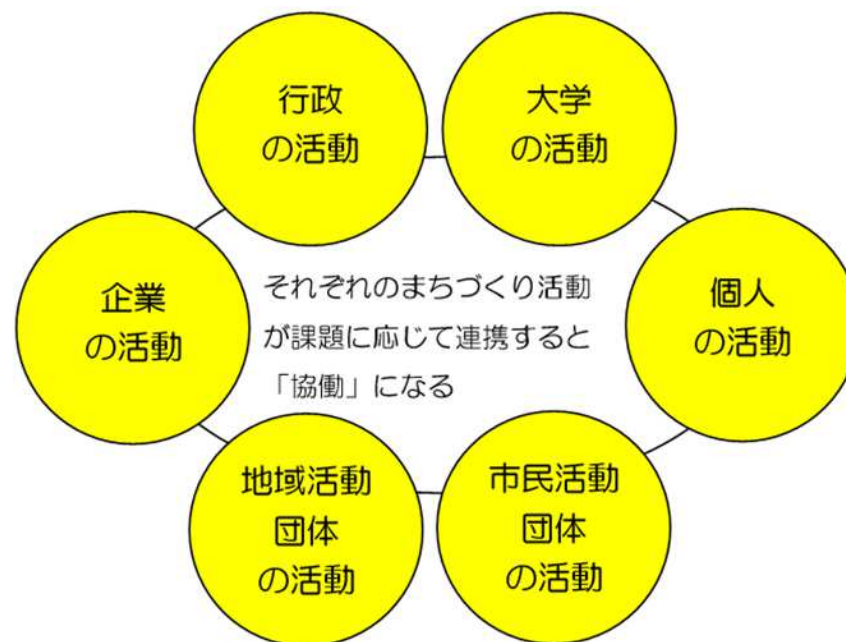
市内に居住する者、市内に通勤し、又は通学する者及び地域活動団体、市民活動団体、大学、企業その他の市内で活動するものをいいます。



# 1 相模原市の「協働」とは

## 協働のかたち

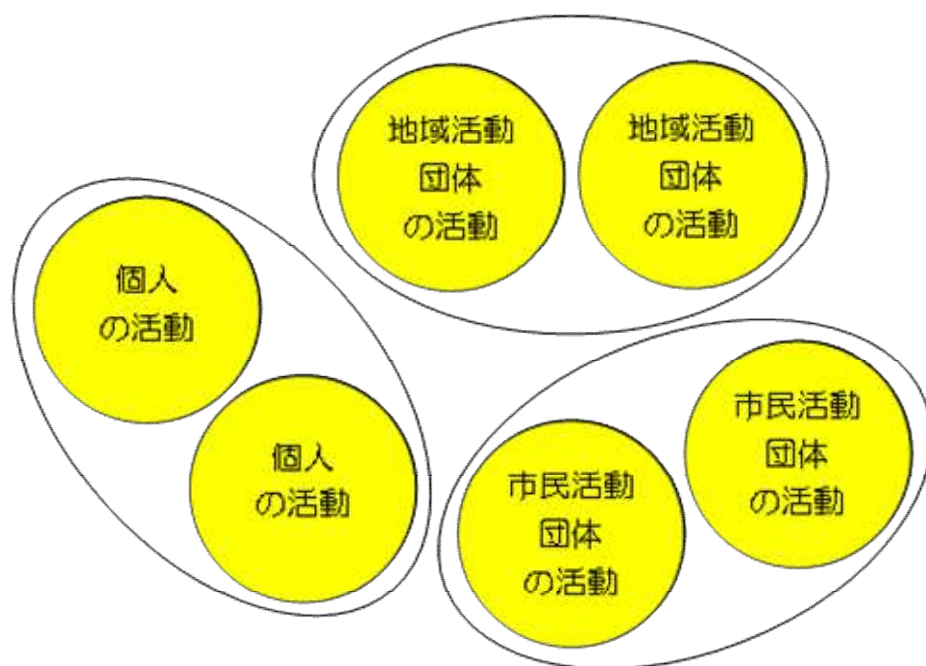
「行政と大学」、「地域活動団体と企業」など、異なる種類の団体が地域社会の課題解決に向けて連携した取組



# 1 相模原市の「協働」とは

## 協働のかたち

「地域活動団体と地域活動団体」、「個人と個人」など、同じ種類の異なる団体が地域社会の課題解決に向けて連携した取組



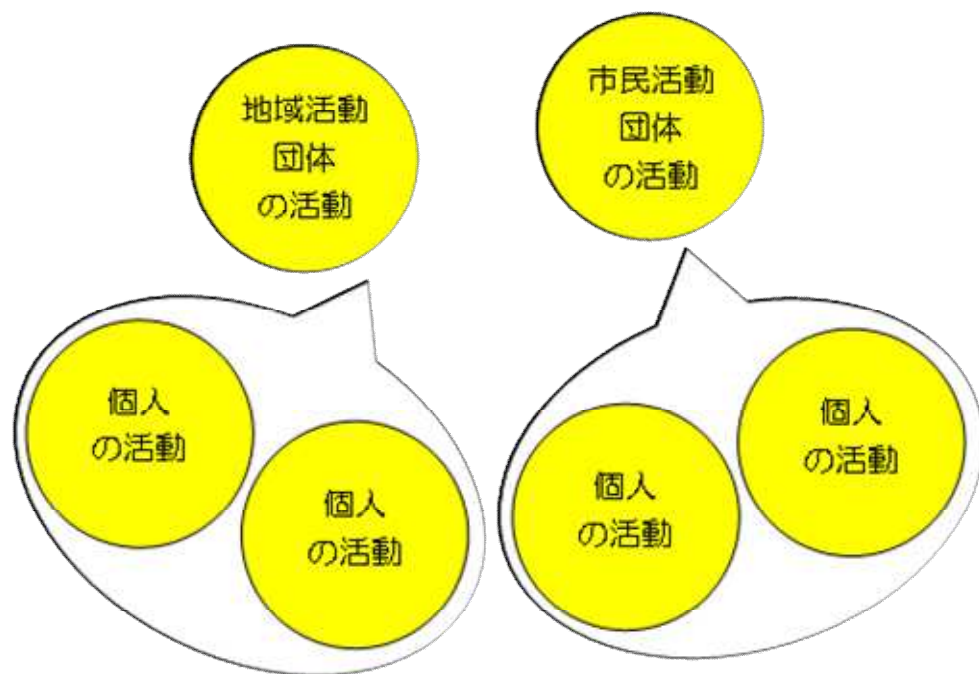
「個人と個人」が、目的を共有し、役割分担をした上で、清掃活動をした場合は協働になる。

個人一人によるゴミ拾い等の清掃活動は、他と目的の共有や役割分担等をしていないため協働には当たらないが、この活動も発展すれば協働につながる重要な活動です。

# 1 相模原市の「協働」とは

## 協働のかたち

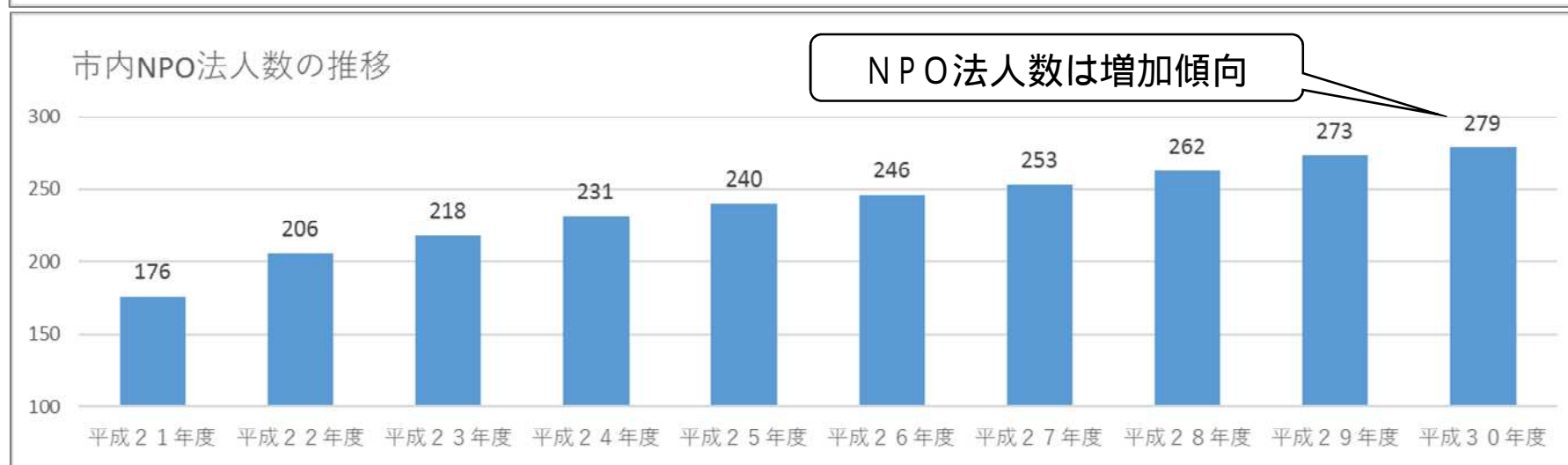
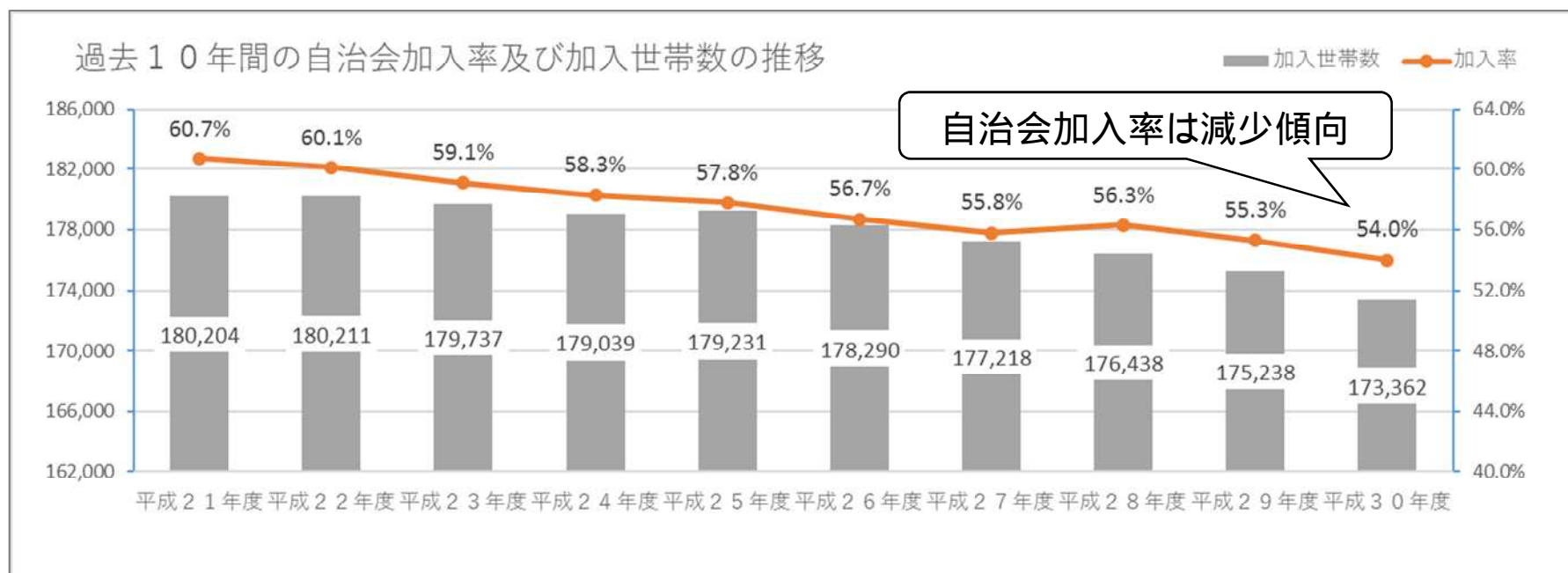
地域活動団体や市民活動団体の活動は、同じ目的意識を持つ個人の活動の集まりであるため、その活動自体が協働になる。



大学や企業の設立目的は、地域活動団体や市民活動団体と異なるため、その活動自体が協働になる訳ではない。

大学や企業のCSR活動は協働には当たらないが、この活動も他の団体等と連携すると協働につながる重要な活動です。

# 1 相模原市の「協働」とは



## 2 協働を進めるに当たって

### 期待される主な効果

#### (1) 市民サービスの向上

多様な主体が協働することで、それぞれの特性や得意分野を生かし、相互に補完し合うことにより相乗効果が生まれ、市民ニーズへのきめ細かい、迅速な対応につながることを期待されます。

#### (2) 市民主体のまちづくりの推進

多様な主体の視点が具体的にまちづくりに反映されるほか、まちづくりを担う主体間のネットワークが広がることで幅広い事業が展開されるなど、市民主体のまちづくりにつながることが期待されます。

#### (3) 持続可能な都市経営

行政は市民感覚を意識することになり、コスト面や効率性の観点から改善が期待されます。また、協働に当たり各主体と役割分担を行うため、行政が担うべき公共サービスの範囲が明確になり、限られた人材や財源をより効果的に活用することで持続可能な都市経営につながることを期待されます。

## 2 協働を進めるに当たって

### 協働の基本原則 市民協働推進条例 第4条

#### (1) 相互理解

相手の立場を十分に尊重し、相手との違いを認め、相互に理解し合うこと

#### (2) 目的共有

協働の目的を明確にし、共有すること

#### (3) 役割分担と協力

互いの役割分担について、適切な機会を設け相互の合意により決定し、活動の場における対等な協力関係を形成すること

#### (4) 自立

互いに依存することなく、自主的に行動すること

#### (5) 透明性の確保

常に相互の関係や協働の内容を明らかにし、透明性を確保すること

**立場の異なる多様な主体が連携し、共通の目的を実現するためには、それぞれが基本原則を十分に理解することが大切です。**

## 2 協働を進めるに当たって

( 協働のおまけの効果 )

地域活動団体同士のコミュニケーションが良くなった。  
その他の活動の活発化につながった。 etc

新たな展開につながる効果も期待されます。

長期的な視点で一緒に進めて行くことで、

おまけの効果も期待されます。



**SDGs**  
未来都市  
さがみはら



SDGsで未来を変える

SDGs推進室



何の略？

**S** USTAINABLE

**D** EVELOPMENT

**G** OAL **S**

複数形のS！

目標が17個あるからGoalsなんだね！



日本語にすると？

---

# 持続可能な開発目標

英語は全く分かりませんが、  
日本語にしても良く分かりません...



開発は何のため

色んな開発をしてきました



都市開発

技術開発



商品開発

何のため？

答えは...

# 便利で豊かな暮らしをするため



誰もが豊かになったか

世界で豊かな人上位8人の総資産は？

貧しい人達〇〇人分の総資産に匹敵します。

3600万人分

3億6千万人分

36億人分



絶対的貧困と言われる1日1.9ドル以下で生活する人は世界で7億人以上。  
日本においても子どもの7人に1人が相対的貧困にあり、貧困の連鎖が生まれている。

# 豊かに暮らし続けることができるか？



温暖化による集中豪雨  
や大型台風の頻発

令和元年東日本台風における本市被害額は？

13億円

130億円

1300億円



豊かに暮らし続けることができるか？



## 海洋プラスチック問題

1年間に海に流出するプラごみの量は重さにして  
ジャンボジェット機何台分？

500台分

5000台分

50000台分



# これまでの開発は

格差を広げ、地球環境を脅かしている部分がある



今求められているのは経済・社会・環境の  
バランスの取れた「**持続可能な開発**」



持続可能な開発とは...

格差を無くし 地球環境を破壊しないで  
誰もが**心豊かに暮らし続ける**ための開発



# 基礎知識

どこでいつ決まったの？

# 2015年9月 国連サミット

2015年9月の国連サミットで、国連加盟国193カ国が「2030アジェンダ」に合意  
「2030アジェンダ」に掲げられた2016年から2030年までに達成すべき目標が

## SDGs



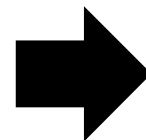
# 世界中で目標を共有するために

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### Point


分かりやすいフレーズとカラフルなアイコンにより、世界中の誰もが「目標」を共有できる




一人ひとりが  
主役になれる！



# ゴール・ターゲット・指標

ゴール1	ターゲット1.1	指標1.1.1
	2030年までに、現在1日1.9ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。	国際的な貧困ラインを下回って生活している人口の割合

⋮

ゴール2	ターゲット2.1	指標2.1.1
	2030年までに、飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。	栄養不足蔓延率

⋮



## Point

17のゴール、169のターゲット、  
232の指標で構成されている

# SDGs 認知度

あなたはSDGsを知っていますか？（R2 市政世論調査）

知っている	聞いたことはあるが内容については知らない	全く知らない	無回答
16.6%	22.6%	58.1%	2.7%

あなたはSDGsを知っていますか？（R2 ジュニア市政モニター）

よく知っている	なんとなく知っている	聞いたことはある	全く知らない
22.4%	30.6%	15.9%	31.2%

## 若い世代を中心に

あなたはSDGsについてどのように考えますか？  
(R2ジュニア市政モニター)

とても大切なものであり、積極的に取り組んでいきたい。	39.4%
興味があるのもっと詳しく知りたい。	44.1%
難しそうな感じがするので、あまり興味が沸かない。	9.4%
自分にはあまり関係が無いと思う。	2.4%
その他	4.1%
無回答	0.6%

認知度、意識の高まりがみられる！

# 若い世代を中心に

## 相模原市でSDGsに取り組む若者



### Class For Everyone 高濱さん

リユースから学びを創る

企業から寄付を受けたパソコンをアフリカやアジアの途上国へ寄付をする活動を展開。



同時に非電化地域にソーラーパネルとバッテリーによる電源供給の仕組みを普及している。

### HAYAMIの草ストロー 大久保さん




ちょこっとエコな選択を

19歳の大学生が完全生分解性の「草ストロー」を販売する会社を起業。

プラスチックごみの削減と、ベトナム農村地域の雇用創出に貢献している。




# 身近なターゲット


ゴール3	ターゲット3.6
	2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
ゴール12	ターゲット12.3
	2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
ゴール12	ターゲット12.5
	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。




# 地域・個人レベルへの落とし込み

ゴール5	ターゲット5.1
 <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>	あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。

➡ 性別役割分担意識を無くす→家事・育児の分担等

ゴール13	ターゲット13.1
 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

➡ 防災訓練の実施、避難場所の確認等

ゴール5	ターゲット5.1
 <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>	2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。

➡ プラスチックごみの削減→マイボトル

# 課題の背景を知る



## 食品ロスが与える影響



- ・世界の飢餓人口は約 7 億人
- ・世界の穀物生産量は年間約 2 6 億トン。世界の人口で割ると一人あたり 340 k g。（日本人が実質食べている穀物は 154 k g）
- ・日本は食料の 38% を輸入しているのにもかかわらず、年間 612 万トンの食べられる食品を廃棄



- ・ハンバーガー 1 個作るのに使われる水の量は 500 m l ペットボトル約 2 万本分。
- ・世界人口の約 40% が水不足に悩まされている。
- ・水不足は子どもの就学や女性の社会進出に影響を与えている。

# 課題の背景を知る



- ・ ドロウダウン：地球温暖化を逆転させる100の方法
  - 1位 冷媒マネジメント
  - 2位 風力発電
  - 3位 食品ロスの削減
- ・ 食品の生産・輸送・調理など様々な過程では多くの二酸化炭素が排出されている。

Think Globally Act Locally !  
地球規模で考え、足元から行動する

# SDGsへの取組

一人ひとりの取組が未来につながる。  
様々な人々、そして取組がつながることで、  
持続可能な世界が実現する。

SDGsには世代や分野を越えて、様々な人々をつなげる  
コミュニケーションツール。

